



第83回 全国学校歯科保健 研究大会 in 山口

第83回全国学校歯科保健研究大会は令和元年10月17日(木)・18日(金)、山口市の山口市民会館とホテルかめ福において、『生き抜く力』をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して、「学校歯科保健活動が拓く新たな時代」を副題として開催された。

令和となり初めての開催となる今大会では、新時代を生き未来を担う子供たちが生涯を通じて健康で活力ある生活を送り、自律的な健康づくりの習慣を身につけ、「生き抜く力」をはぐくむための学校歯科保健の推進が必要であり、無限の可能性を追求し、さらなる進展を目指して新たな軌跡を刻むことが我々の願いであるとの趣旨で開催された。

12時30分よりアトラクションとして防府市立桑山中学校吹奏楽部の演奏が行われた。

1 日目 10月17日(木)

●開会式・表彰式

13時より開会式の開会宣言として(公社)山口県歯科医師会の下村明生副会長の辞、国歌斉唱に続き、主催者を代表して萩生田光一文部科学大臣(代理)、(一社)日本学校歯科医会の川本強会長、(公社)山口県歯科医師会の小山茂幸会長、山口県教育委員会の浅原司教育長から挨拶があった。

祝辞を加藤勝信厚生労働大臣(代理)、(公財)日本学校保健会の横倉義武会長、(公社)日本歯科医師会の堀憲郎会長、山口県議会の柳居俊学議長より頂き、その後、来賓並びに主催者が紹介された。

表彰式に移り、川本強会長より前回開催地代表の(一社)沖縄県歯科医師会の真境名勉会長に対し感謝状が贈呈された。引き続き、第58回全日本学校歯科保健優良校表彰に移り、萩生田光一文部科学大臣(代理)から文部科学大臣賞(7校)、川本強会長から日本学校歯科医会会長賞(8校)、堀憲郎会長から日本歯科医師会会長賞(10校)、川本強会長から奨励賞(98校・園)が授与された。

受賞者を代表として、山口県防府市立佐波小学校の長富良子校長から謝辞が述べられた。祝電が披露された後、(公



小山茂幸 山口県歯会長



川本 強 会長



社)山口県歯科医師会の松浦尚志副会長の閉式の辞で終わった。

●特別講演

14時15分から慶應義塾大学総合政策学部教授の中室牧子氏による特別講演が「教育に科学的根拠を」のタイトルで行われた。講演内容として、家庭や学校・塾等での



日常での経験や、会社や組織での経験を大量に観察した中から見出される規則性、すなわち「科学的根拠」が、判断や意思決定の根拠として有用であり、「人を育てる」時に役立つ知見であると述べられた。

●シンポジウム

15時50分より(一社)日本学校歯科医会の齋藤秀子副会長の座長のもと「学習指導要領改訂に伴う学校歯科保健における主体的・対話的で深い学びの実現」をテーマにシンポジウムが行われた。

基調講演を大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座予防歯科学の天野敦雄教授が、シンポジストとして文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課の横嶋剛健康教育調査官、大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校の花松亜由主務養護教諭が、テーマに即し「望ましい生活習慣の形成をめざす歯と口の健康づくりと校種間連携」を、(公社)山口県歯科医師会的小山茂幸会長が「山口県における学校歯科保健の取り組み～子どもたちのより深い学びに向けて～」を発表し、18時まで行われた。

演者の天野敦雄教授は、政府の骨太の方針2019には健康寿命延伸に健口の重要性を明記、「健康は健口から、健康はただではない・費用が掛かる・予防健康診断が大切」と、口腔の健康は全身の健康につながることを力説された。また横嶋剛健康教育調査官は、アクティブラーニングから子供たちが主体的に学び、人生や社会の存在を理解し、多くの人たちと連携を保ち、健康教育が適切に



齋藤秀子 副会長



シンポジストの先生方

推進されること、また学校歯科医は、歯科講話などで頻りに担当校に出向き、教育することが必要であると述べられた。また、花松亜由主務養護教諭は、歯と口の健康づくりには幼児期からの健康教育推進が不可欠であり、幼児教育と小学校教育の連携・交流が必要で、「発達段階を考慮し心情に迫る取り組み・連携、協議での取り組みの継続」の展開が学校歯科保健を取り巻く課題解決へとつながると発表された。小山茂幸氏は、平成23年に「山口県民の歯と口腔の健康づくり推進条例」が制定され、生涯にわたる健康の保持増進を展開し、健康寿命を伸ばし、健康行動を身につけ、多角的な視点から取り組むことが必要であると述べられた。

●ポスター発表

山口市民会館の展示ホールの会場において、14のポスター発表ならびに第58回全日本学校歯科保健優良校表彰優秀賞の7校の発表が展示された。



●懇親会

19時から第83回全国学校歯科保健研究大会の懇親会が、ホテルかめ福で約330人強の参加にて開催された。山口県の銘酒、獺祭はじめを山頭火・長門峡・雁木等の数種類の地酒を嗜み、ふぐ刺し等のお料理を堪能し、シンガーソングライター原田侑子さんが「山口ゆめ花博」のイメージソング『ゆめの種』を歌い、山口県防府市大道の小俣地区で古くからある天下の奇祭・神事「笑い講」、一年の収穫に感謝し、来る年の豊作を願いながら大きな声で笑うアトラクションが披露され、川本会長、小山・山口県歯科医師会会長なども加わり「天神雷舞」が行われ、和やかな楽しい懇親会を満喫した。



2日目 10月18日(金)

●領域別研究協議会

1. 幼稚園・認定こども園・保育所部会

座長：朝日大学歯学部附属病院口腔構造機能発育学講座小児歯科学分野・飯沼光生教授『生き抜く力』をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して 学校歯科保健が拓く新たな時代 乳幼児期」、①下関国際高等学校附属幼稚園・村田健二園長『生き抜く力』をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して～歯みがきの習慣を身につけよう～」、②大阪市立玉出幼稚園・岩瀬直美園長『『生き抜く力』をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して 保護者とともに、幼児期からの『歯・口の健康づくり』に取り組む』、アドバイザー：神奈川歯科口腔統合医療学講座小児歯科学分野・木本茂成教授。

2. 小学校部会

座長：鶴見大学歯学部小児歯科学講座・朝田芳信主任教授『『生き抜く力』をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して ～学校歯科保健が拓く新たな時代～』、①山口県市立立城小学校・平山望美養護教諭、河村眞琴養護教諭「主体的・対話的で深い学びに導く『歯・口の健康づくり』～みんなで創る『楽しくてたまらない』

学校歯科保健活動～」、②萩市立白水小学校・中村好子養護教諭『『生き抜く力』をはぐくむ歯・口の健康づくり～基本的な生活習慣の確立へ向けて～』、③駒ヶ根市立赤穂南小学校・小塚恵子養護教諭、学校歯科医・菅沼香先生「自分の健康に関心を持ち、進んで健康的な生活を送ろうとする子どもの育成～発展的に継続する『歯と口の健康づくり』を目指して～」、アドバイザー：日本大学歯学部歯学科衛生学・川戸貴行教授。



3. 中学校部会

座長：東京歯科大学解剖学講座・阿部伸一教授「生きる力をはぐくむ口腔機能～『食べる』『話す』『呼吸する』～」、①山口県下松市立末武中学校・厚東和彦校長『For the future～みんなで磨く歯と心～』から『極～歯と口の健康を～』、②鹿児島県阿久根市立三笠中学校・楠元政江養護教諭「自分の口腔状態を知り、生涯にわたり歯周病予防、むし歯予防を実行できる生徒の育成」、アドバイザー：九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座口腔予防医学分野・山下喜久教授。

4. 高等学校部会

座長：大阪歯科大学口腔衛生学講座病院・片岡宏介准教授「高等学校(青年中)期おけるむし歯の現状～その原因考察と『生涯28』を目指して～」、①山口県立小野田高等学校・山根惠養護教諭「高校生の健康自立を促す歯科保健の展望『検診オンリーから健康教育へ』～校内・地域連携で、健康歯援(しえん)～」、②香川県立高松西高等学校・柳谷貴子保健主事・養護教諭「学校歯科医による健康相談の取り組みと展望～定期健康診断にカウンセリングの導入を試みて～」、アドバイザー：東北大学大学院歯学研究科・歯学部・相田潤准教授。

5. 特別支援教育部会

座長：岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター・江草正彦教授「特別支援学校歯科検診のサポートシステム構築のための基礎調査」、①山口県立山口南総合支援学校・福本佳恵養護教諭「学校保健活動のセンター的役割からみた学校保健指導～ゆっくりでも一歩ずつ 少しでも着実に～」、②沖縄県立西崎特別支援学校・安里真理子養護教諭「特別支援学校の実態に応じた歯科指導の実



践～自ら気づき、考え、取り組む歯の健康づくり～」、アドバイザー：昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学・弘中祥司教授。

●ポスター発表表彰式

11時50分より山口市民会館にて、ポスター発表表彰式が行われた。今大会では、エントリーされたポスターの内容を堪案し2部門(活動部門・調査研究部門)に分け審査された。「活動部門」優秀賞は、こども園のるびにい「歯と口の健康づくりを基本とした健康づくりの実践～連携で育む子どもの姿を通して～」に、「調査研究部門」優秀賞は愛知県私立学校歯科医会「園児の口腔機能と食・生活習慣の実態調査について」に、審査員特別賞は(一社)愛知県歯科医師会地域保健部I「愛知県歯科医師会における0歳児からの口腔機能育成事業の取組」に決定、表彰状と副賞の授与が行われた。

続いて大会宣言の朗読が、(一社)日本学校歯科医会の長沼善美専務理事から行われ、宣言文が(一社)日本学校歯科医会の川本強会長・(公社)山口県歯科医師会の小山茂幸会長に手渡された。

●閉会式

12時30分より閉会式に移り、次期開催地決定報告が(一社)日本学校歯科医会の川本強会長から述べられ、「学校歯科医の鐘」の引き継ぎを川本強会長、(公社)山口県歯科医師会の小山茂幸会長・(一社)福井県歯科医師会の山本有一郎会長との間で行われた。次期開催地の紹介DVDが流され、次期開催



——領域別研究協議会に参加して——

●特別支援教育部会

特別支援教育部会では、岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター長・教授の江草正彦先生を座長に、昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門教授の弘中祥司先生をアドバイザーとして、特別支援学校2校からの研究発表があった。

まず、山口県立山口南総合支援学校養護教諭の福本佳恵先生から「学校保健活動のセンター的役割からみた歯科保健活動〜ゆっくりでも一歩ずつ、少しでも着実に〜」という演題で講演が行われた。山口県は総合支援学校へ移行して、障害の異なる乳児児童生徒が同じ敷地で学びあうという、全国の特別支援学校でも稀な学校形態をとっている。本校の学校歯科保健の取り組みとして、(1)保健室経営計画を掲げており、学校教育目標、学校経営方針を受け、幼児児童生徒の健康課題を踏まえた学校保健目標を掲げ、保健室経営目標、目標達成の具体的な方策を示した保健室経営計画を立てている。具体的な取組として、①小学部での実践、②高等部での実践、③幼稚部、中学部での実践をもとに、それぞれの成果と課題を話された。いずれの学部も歯垢染色剤を使用したみがき残しの指導内容を取り入れることで、「見て確かめる」「自分でやってみる」ことができ、少しずつ自信がついていったように見受けられたとのこ

大会宣言

元号が令和となり初めての開催となる第83回全国学校歯科保健研究大会を、我々は、維新胎動の地、山口に集い「『生き抜く力』をはぐむ歯・口の健康づくりの展開を目指して～学校歯科保健が拓く新たな時代～」をテーマとして開催し、学校歯科保健活動が持つ無限の可能性を示唆し、展望を描いた。

歯と口の健康づくりを通じて、口腔保健衛生の向上とともに、自律的な健康づくりの知識と習慣を身につける、ヘルスプロモーションとしての役割を担う学校歯科保健活動を積極的に展開していかなければならない。

この新たな時代を生き、未来を担う子供たちが生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送ることを願い、学校歯科保健関係者が連携を強固にし、「歯・口の健康づくり」をより一層推進していくことを誓い、ここに大会宣言する。

令和元年10月18日 第83回全国学校歯科保健研究大会

地代表として山本有一郎会長が挨拶をされた。

最後に、(公社)山口県歯科医師会の松浦尚志副会長の閉会宣言で閉じた。 (広報委員会アドバイザー・草柳英二)

とであった。また指導者も、子供たちのみがき方の癖や口腔内の状態を把握できて指導しやすくなったとのことである。特別支援学校には、障害特性による感覚過敏や初めてのことや慣れないことに対する緊張、感情のコントロールが難しい傾向にある子供が多く在籍している。自分で歯みがきができること、歯科通院ができることは一生の財産になる。幼児期から「ゆっくりでも一歩ずつ、少しでも着実に」を合言葉に、今後も早期から一人一人の教育的ニーズに応じた歯科保健指導を継続していきたいとの発表であった。

次に、沖縄県立西崎特別支援学校養護教諭の安里真理子先生から「特別支援学校の実態に応じた歯科指導の実践〜自ら気づき、考え、取り組む歯の健康〜」という演題で講演が行われた。興味深かったことは、歯科保健活動において毎月第3水曜日を「歯☆ピカデー」として設定し「いつもより丁寧に歯みがきを行うこと」を意識しながらの歯みがきの実践、小学部、中学部、高等部に対する取り組み、各クラスの実態に応じて、絵本の読み聞かせや、歯みがきソングに合わせて歯みがきをし、染め出し液を用いてみがき残しを確認させて行っているとのことである。この設定で、高等部の生徒は自分でうまくみがけていると思っていたのが、実はみがき残しが多いということに気づき、教師に確認をお願いする生徒が増えたと



**第58回(令和元年度)
全日本学校歯科保健優良校表彰被表彰校一覧**



★本会ホームページで、優秀賞受賞校(○)の活動内容をご覧いただけます。 [日学歯ホームページ](#)▶[国民のみなさまTOP](#)▶[全日本学校歯科保健優良校表彰](#)

優秀賞(文部科学大臣賞)

- 東京都 荒川区立夕入こども園
- 宮城県 気仙沼市立唐桑小学校
- 新潟県 長岡市立神田小学校
- 岐阜県 美濃加茂市立太田小学校
- 埼玉県 熊谷市立富士見中学校
- 岩手県 岩手県立大東高等学校
- 千葉県 千葉県立特別支援学校流山高等学園

- 山口県 防府市立佐波小学校
- 和歌山県 田辺市立中辺路中学校
- 徳島県 徳島県立徳島科学技術高等学校(全日制)
- 宮城県 宮城県立角田支援学校白石校

日本歯科医師会会長賞

- 岡山県 和気町立和気ここにここ園和気幼稚園
- 北海道 札幌市立定山溪小学校
- 福島県 福島市立水保小学校
- 千葉県 流山市立八木北小学校
- 埼玉県 羽生市立羽生南小学校
- 長野県 駒ヶ根市立赤穂南小学校
- 長崎県 雲仙市立神代小学校
- 群馬県 高崎市立塚元中学校

- 鹿児島県 鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校
- 滋賀県 滋賀大学教育学部附属特別支援学校

奨励賞

- 札幌市 学校法人北海道キリスト教学園 麻生聖母幼稚園
- 山形県 学校法人菅藤学園南山形幼稚園
- 北海道 登別市立登別小学校
- 青森県 深浦町立いわさき小学校
- 青森県 三沢市立木崎野小学校
- 岩手県 花巻市立若葉小学校
- 宮城県 仙台市立上杉山通小学校
- 山形県 米沢市立六郷小学校
- 福島県 喜多方市立第一小学校
- 福島県 西郷村立米小学校

- 福島県 湯川村立勝常小学校
- 茨城県 常総市立網西小学校
- 茨城県 土浦市立中村小学校
- 茨城県 鉾田市立白鳥東小学校
- 栃木県 宇都宮市立今泉小学校
- 栃木県 栃木市立西方小学校
- 群馬県 伊勢崎市立宮郷小学校
- 千葉県 鴨川市立天津小湊小学校
- 千葉県 君津市立小糸小学校
- 埼玉県 川越市立川越第一小学校
- 埼玉県 さいたま市立大牧小学校
- 埼玉県 羽生市立新郷第一小学校
- 東京都 板橋区立北前野小学校
- 東京都 清瀬市立清瀬第七小学校

のことであった。この学校の掲げている目標として「健康で明るい生活をするために、必要な生活態度を育て、望ましい生活習慣の形成を図る」を基本的な考えとし、家庭、学校、地域が一つになれるよう目指していきたいと締めくくられた。

最後に、江草正彦教授より「特別支援学校歯科検診のサポートシステム構築のための基礎調査」の講演が行われた。特別支援学校における学校歯科医および歯科検診をはじめとした学校歯科保健活動での現状および問題点や検診結果の活用についての実態を明らかにし、検診の精度向上や地域医療連携構築について検討するため全国から抽出した特別支援学校や歯科医を対象とした質問票調査を行った。

その結果、特別支援学校の学校歯科医は高齢で経験年数が長い傾向があるが、障害者歯科に関する知識、経験には個人差があり、多くは検診の実行と検診結果の有効な生かし方に苦勞をされていることが示唆された。今後は、「日本学校歯科医会と日本障害者歯科学会等の全国レベルでの協力体制の充実が必要だ」と感じるとの意見が述べられた。

最後の研究協議では、会場からも、両校の歯科保健活動の難しい課題に対し、学校歯科医の協力体制が問題解決に有用であるとの前向きな協議がなされ、閉会となった。

(広報委員会委員長・大林裕明)

大会を終えて

第83回全国学校歯科保健研究大会を終えて

公益社団法人山口県歯科医師会 会長 小山 茂幸



令和元年10月17日、18日に山口市にて開催されました第83回全国学校歯科保健研究大会には全国各地より多数のご参加をいただき盛会裡に終了することができました。大会開催にあたり多大なご尽力を賜りました関係各位に心より感謝申し上げます。大会特別講演では慶應義塾大学総合政策学部教授の中室牧子先生より、教育経済学の研究から「人を育てる」時に役立つ知見をさまざまなデータを基にお話いただきました。シンポジウムは「学習指導要領改訂に伴う学校歯科保健における主体的・対

話的で深い学びの実現」のテーマのもと、基調講演で大阪大学予防歯科学教授の天野敦雄先生より主旨を分かりやすく解説いただき、シンポジストそれぞれの立場から、児童・生徒が主体的で深い学びを身につけるための提言を頂きました。本大会を契機として学校歯科保健関係者が連携をより強固にし、「歯・口の健康づくり」を一層推進していく決意を新たに、開催地を代表してご報告とお礼のご挨拶といたします。

次年度の開催地(福井県)から

第84回全国学校歯科保健研究大会のご案内

一般社団法人福井県歯科医師会 会長 山本 有一郎



令和2年10月8日(木)、9日(金)の2日間、第84回全国学校歯科保健研究大会が、福井県にて開催されます。会場には福井市の福井駅に隣接するAOSSA(アオッサ)を予定しております。旧越前国と旧若狭国からなる福井県は、戦国時代の一乗谷朝倉遺跡や曹洞宗大本山永平寺など歴史ロマン溢れる名所旧跡も数多く、豊かな自然や味覚の宝庫でもあります。また、最近では全国随一の規模を誇る福井県立恐竜博物館も人気でございます。さらに、3年後に迫った北陸新幹線開通を目指して、県内全体が活気に満ちているところです。

基調講演は福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部長の友田明美先生を招いて、ご講演いただく予定です。講演内容は未定ですが、「児童虐待と脳の発達」を研究テーマとしており、虐待が脳に与える影響を世界で初めて実証し、同分野で最先端に行く先生です。この由緒ある大会が福井県では初の開催で、大変名誉なことと感じつつ、その責任の重さを痛感するとともに、皆様にも有意義なものになるように、大会の運営に尽力させて頂く所存です。多数の皆様を福井にて心よりお待ちしております。『AOSSA(アオッサ)で会おうっさ〜』

- | | | | |
|------------------|-----------------|-------------------|----------------------|
| 神奈川県 横浜市立折本小学校 | 和歌山県 有田川町立小川小学校 | 鹿児島県 鹿児島市立皆与志小学校 | 兵庫県 高砂市立松陽中学校 |
| 神奈川県 横浜市立中尾小学校 | 和歌山県 紀美野町立野上小学校 | 鹿児島県 与論町立茶花小学校 | 山口県 山口市立秋穂中学校 |
| 神奈川県 横浜市立本牧南小学校 | 京都府 京田辺市立草内小学校 | 北海道 札幌市立定山溪中学校 | 愛媛県 松山市立城西中学校 |
| 神奈川県 横浜市立南門小学校 | 京都府 京都市立上賀茂小学校 | 岩手県 大船渡市立綾里中学校 | 鹿児島県 鹿児島市立吉田北中学校 |
| 神奈川県 横浜市立南神大寺小学校 | 京都府 京都市立桂徳小学校 | 宮城県 気仙沼市立唐桑中学校 | 東京都 東京都立府中工業高等学校 |
| 長野県 松本市立梓川小学校 | 大阪府 堺市立浜寺石津小学校 | 山形県 尾花沢市立尾花沢中学校 | 新潟県 新潟県立高田高等学校 |
| 静岡県 伊豆市立土肥小中一貫校 | 大阪府 寝屋川市立三井小学校 | 茨城県 東海村立東海中学校 | 岐阜県 岐阜県立土岐紅陵高等学校 |
| 静岡県 静岡市立水見色小学校 | 大阪府 大阪市立築港小学校 | 栃木県 栃木市立西方中学校 | 大阪府 大阪府立布施高等学校 |
| 静岡県 浜松市立舞阪小学校 | 大阪府 大阪市立西生野小学校 | 栃木県 那須町立那須中学校 | 青森県 青森県立森田養護学校 |
| 愛知県 一宮市立北方小学校 | 兵庫県 伊丹市立鈴原小学校 | 群馬県 太田市立太田中学校 | 群馬県 群馬大学教育学部附属特別支援学校 |
| 愛知県 瀬戸市立品野台小学校 | 兵庫県 神戸市立小寺小学校 | 千葉県 鴨川市立安房東中学校 | 東京都 東京都立村山特別支援学校 |
| 名古屋市 名古屋市立猪高小学校 | 岡山県 岡山市立御南小学校 | 東京都 東村山市立東村山第七中学校 | 長野県 長野県諏訪養護学校 |
| 名古屋市 名古屋市立鳴海小学校 | 山口県 下松市立公集小学校 | 新潟県 新潟市立岩室中学校 | 静岡県 静岡県立藤枝特別支援学校 |
| 名古屋市 名古屋市立瑞穂小学校 | 愛媛県 宇和島市立日振島小学校 | 福井県 南越前町立南条中学校 | 愛知県 愛知県立ひいらぎ特別支援学校 |
| 石川県 小松市立稚松小学校 | 愛媛県 八幡浜市立川之石小学校 | 滋賀県 滋賀県立水口東中学校 | 名古屋府 名古屋府立西養護学校 |
| 福井県 越前町立織田小学校 | 福岡県 春日市立春日東小学校 | 京都府 福知山市立大江中学校 | 大阪府 大阪府立八尾支援学校 |
| 福井県 永平寺町立松岡小学校 | 長崎県 佐世保市立船越小学校 | 大阪府 和泉市立和泉中学校 | 岡山県 岡山県立岡山南支援学校 |
| 富山県 砺波市立出町小学校 | 長崎県 平戸市立根獅子小学校 | 大阪府 大阪市立淀川中学校 | |
| 滋賀県 竜王町立竜王西小学校 | 大分県 佐伯市立松浦小学校 | 兵衛県 新潟県立浜坂中学校 | |

■ 令和元年度 全国学校保健・安全研究大会

令和元年11月21日(木)・22日(金)の両日、埼玉県さいたま市において「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進 ～主体的に健康課題の解決に取り組み未来を拓く子供の育成～」という主題のもと、令和元年度全国学校保健・安全研究大会が開催された。

21日はソニックシティにて全体会(開会式・表彰式・記念講演)が行われた。

開会式では、萩生田光一文部科学大臣(代理)、公益財団法人日本学校保健会の横倉義武会長(代理)、埼玉県教育委員会の小松弥生教育長等の挨拶の後、表彰式が行われ、52名の学校歯科医のほか、学校医、学校薬剤師、団体等が学校保健・学校安全の功労者として文部科学大臣表彰を受賞された。

記念講演では、埼玉大学教育学部の戸部秀之教授が「子供のインターネット利用と健康」という演題で講演された。

22日は10課題についての課題別研究協議会と全国学校保健会中央大会が行われた。

「第5課題：歯・口の健康づくり」では、「生涯にわたる健康づくりの基盤となる歯・口の健康づくりの進め方」として、講師に日本学校歯科医会の柘植紳平副会長、指導助言者(コーディネーター)として愛知県立瀬戸高等学校の丸山洋生校長のもと研究発表が行われた。

①神奈川県立茅ヶ崎養護学校の一瀬理恵総括教諭が、

「児童生徒の自立に向けた口腔ケア・摂食指導のための教職員研修と児童生徒実態把握の試み『生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業』1年目の取組」と題する研究発表をされた。歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の実施について発表された。

②栃木県宇都宮市立鬼怒中学校の棚原梨沙養護教諭が、「自ら健康な生活を実践できる生徒の育成 ～歯と口の健康づくりを通して～」と題する研究発表をされた。各教科、特別活動及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導計画の作成、実施、評価及び改善について発表された。

③埼玉県羽生市立新郷第二小学校の熊木和美養護教諭が、「生涯にわたり、自分で自分の健康を守ることができる児童の育成を目指して ～学校・家庭・地域・関係機関との連携・協働を通じて～」と題する研究発表をされた。学校、家庭及び地域社会が連携した学校歯科保健活動の進め方について発表された。

その後、丸山洋生先生から各校の発表に対しての指導助言が行われた。

最後に、柘植紳平副会長による「健康は歯から口から笑顔から ～令和の時代に求められる歯・口の健康づくりの進め方～」と題する講演が行われた。

(広報委員会副委員長・上田直克)



柘植紳平 副会長

令和元年度 学校保健及び学校安全の功労に関する文部科学大臣表彰

学校歯科医52名
(敬称略)

北海道 佐藤 義廣
北海道 阿部 直樹
北海道 後藤 伸司
北海道 古谷 米子
青森県 瀧澤 政夫
岩手県 伊保内利一
宮城県 清水 宣彦
宮城県 熊谷 利勝

秋田県 鈴木 穂積 英男
山形県 猪俣 渉
福島県 遠藤 松夫
茨城県 瀨尾能生
栃木県 印南 等
群馬県 石北 裕久
埼玉県 吉田 喜一
千葉県 北原 和彦
東京都 久保 卓志
東京都 中村 卓志

神奈川県 鍵和田信二
新潟県 五十嵐 治
新潟県 黒岩 茂
石川県 角 秀人
石川県 平 一彦
福井県 池田隆太郎
山梨県 諸角三千夫
長野県 松本 雄二
愛知県 河合 泰雄
滋賀県 川尻 哲夫
京都府 岡崎 正稔

大阪府 堀内 賢藏
大阪府 水谷 成彦
大阪府 長崎 三男
兵庫県 大塚 一仁
奈良県 浪崎 義孝
和歌山県 宮本 清
島根県 山根 康雄
島根県 山本 國雄
岡山県 田邊 昭
広島県 永井 一夫
山口県 山野 貴教

徳島県 尾形 清孝
愛媛県 井下 愼文
愛媛県 永井 厚生
高知県 秋山 厚生
福岡県 媛 基宏
福岡県 愛媛 謙三
長崎県 高柳 正俊
熊本県 柳迫 正俊
熊本県 熊本 直喜
宮崎県 熊本 晴具
沖縄県 分 嘉六
沖縄県 宮崎 岩田 充
沖縄県 上原 喬

■ 第69回 全国学校歯科医協議会



第69回全国学校歯科医協議会は、11月21日(木)15時30分よりパレスホテル大宮3階チェリールームにて開催された。埼玉県歯科医師会の桑原栄専務理事の司会のもと、埼玉県歯科医師会の島田宗範副会長の開会の辞で始まり、埼玉県歯科医師会の大島修一会長、日本学校歯科医会の川本強会長の挨拶、来賓祝辞の後、文部科学大臣表彰受賞者が紹介された。

その後、鹿児島県歯科医師会の伊地知博史会長の前回開催県報告、富山県歯科医師会の山崎安仁会長の次期開催県挨拶と続き、埼玉県歯科医師会の中村勝文副会長の閉会の辞で終了した。

講演は、東京歯科大学の口腔健康科学講座スポーツ歯学研究室の武田友孝教授が、「マウスガードの有効性とより安全性の高いマウスガード」の演題で講演されました。またシンポジウムが、日本学校歯科医会副会長の齋藤秀子先生の座長のもとで行われ、シンポジストであ

る立正大学ラグビー部の堀越正己監督と武田友孝教授とのスポーツを通じた広い分野でのディスカッションがあり、会場は大いに盛り上がった。

引き続き、会場を4階ローズルームに移し、第69回全国学校歯科医協議会懇親会が行われた。埼玉県歯科医師会の伊藤雄介常務理事の司会により、埼玉県歯科医師会の大島修一会長、清水勇人さいたま市長の挨拶の後、次期開催県の富山県歯科医師会の山崎安仁会長による乾杯の発声があった。懇親会では、埼玉県ならではの選りすぐりの地酒が振る舞われ、最後に埼玉県歯科医師会の大島勝常務理事の閉会の辞で終了した。

なお第70回全国学校歯科医協議会、令和2年11月12日(木)に富山県富山市のオークスカナルパークホテル富山で開催される予定との報告があった。

(広報委員会委員・高橋裕幸)

講演

マウスガードの有効性とより安全性の高いマウスガード



東京歯科大学
口腔健康科学講座
スポーツ歯学研究室
武田 友孝 教授



シンポジウム 左から、座長の齋藤秀子副会長、シンポジストの武田友孝教授、堀越正己監督